

取扱暗号資産の概要説明書（イーサリアム）

一般社団法人日本暗号資産取引業協会（JVCEA）が公表する「取扱暗号資産の概要説明書」を基に作成しています。
情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

概要書更新年月日	2022年6月1日
暗号資産の名称	イーサリアム
ティッカーコード（シンボル）	ETH
保有・移転記録の最低単位	1wei (=0.000000000000000001 ETH) 但し、当社取扱いの最低単位は0.0001ETH (小数点以下第5位の切上げ)
発行主体の名称	Ethereum Foundation
発行主体概要	不特定の保有・移転管理台帳記録者による発行プログラムの集団・共有管理
発行方法	初期発行と、分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償としてプログラムにより自動発行
発行可能数	未定
一般的な性格	分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産。 分散型アプリケーションが動作する実行環境の役割を果たす特徴を持つ。
保有・移転記録の秘匿性	公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	現状はBitcoinと同様のPoWを用いているが、difficultyの累積和の意味で最長のチェーンを採択するのではなく、アングルブロックの数も考慮して最も多くのブロックが累積したチェーンを採択する点で若干の差異がある。 また、Ethereum 2.0においてPoSに移行する予定であり、いわゆるマイニングの代わりとして、ETHをステーキングしている量に応じてブロック生成権が付与される形態となる。
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。
価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）および記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。
記録者の信用力に関する説明	記録者による多数の合意がなければ不正が成立せず、記録者が十分に多数であることによって、個々の記録者の信用力に頼らず、記録保持の仕組みそのものを信用の基礎としている。